

公共事業継続箇所評価調書

(様式5)

評価確定日(令和 5年 9月 29日)

事業コード	R5-建一継-01	区分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)	部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)	班名	道路建設チーム (tel)018-860-2492
路線名等	一般国道105号	担当課長名	道路課長 石川 康樹
箇所名	北秋田市阿仁幸屋渡	担当者名	チームリーダー 船木 孝仁
プランとの関連	戦略	秋田の魅力が際立つ人・もの交流大戦略	
	目指す姿	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備	
	施策の方向性	高速道路を補完し、広域交流を促進する幹線道路網の形成	

1. 事業の概要

事業期間	H29~ R10(12年)	総事業費	35.1億円	国庫補助率	0.6545	
事業規模	○延長L=1,600m、幅員W=6.5(12.0)m (2.5+1.50+3.25+3.25+1.50)m 片歩道					
事業の立案に至る背景	○国道105号は、由利本荘市井戸尻と北秋田市綴子を結ぶ国道である。由利本荘市、大仙市、仙北市、北秋田市と県内陸部の主要拠点を結ぶ主要幹線道路であり、物流や観光などの産業振興や、救急医療、地域防災などの機能を担う非常に重要な路線である。 当該区間の車道幅員は狭く、急カーブが連続することから、大型車とのすれ違い困難や旅行速度の低下が引き起こされているほか、死傷事故も発生している。 道路利用者の安全を確保するとともに、第二次緊急輸送道路にも指定されている本路線の機能を保持するため、早急に整備を実施する必要がある。					
事業目的	○バイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ・線形改良および幅員の確保による車両等通行の安全性等の向上 ・通過交通の排除による沿線住民である歩行者自転車等の安全性の向上 ○緊急輸送道路としての機能を確保(第二次緊急輸送道路)					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			前回評価	今回評価	増減	理由等
	内訳	事業費	2,000,000	3,514,051	1,514,051	トンネル構造変更の増、盛土材改良の増、機材物価等の上昇に伴う増
		経費	1,738,000	3,212,051	1,474,051	
		工事費				
	財源内訳	用補費	43,000	81,000	38,000	支障物件移設の増
		その他	219,000	221,000	2,000	精算による減
		国庫補助	1,298,000	2,299,946	1,001,946	
県債		631,800	1,092,694	460,894		
その他						
一般財源	70,200	121,411	51,211			
事業内容	調査・設計 改良工、舗装工、橋梁工、トンネル工	調査・設計 改良工、舗装工、橋梁工、トンネル工			国庫補助率の変更による	
事業の進捗状況	○令和4年度末で事業進捗率17%(用地進捗率は85%)					
事業推進上の課題	○特になし					
関連する計画等	○北秋田市総合計画 ○国直轄事業「国道105号 大覚野峠防災」 ○重要物流道路の代替路・補完路に指定(R1.7.31)					
情勢の変化及び長期継続の理由	○特になし					
事業効果把握の手法及び効果	指標名	県管理道路における道路改築率(年度)				
	指標式	改築率(県管理道路改築済延長/県管理道路実延長)				
	指標の種類	● 成果指標 ○ 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	52.2%(R7末)	データ等の出典	県調べ		
	実績値 b	52.0%(R4末)	把握の時期	令和5年 7月		
達成率 b/a	99.6%					

前回評価結果等	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	○最小曲線半径が30m、50mといった急カーブが連続しており、曲線部において拡幅が無いため、大型車とのすれ違いが困難であり、冬期堆雪巾もない。 ○平成27年には急カーブで死亡事故が発生している。	12点
緊 急 性	○北秋田市総合計画の中で広域交通基盤の整備が重点プロジェクトに挙げられており、国道105号は市を縦断する主要幹線道路と位置づけられている。 ○当該工区の前後が整備済み。	15点
有 効 性	○第二次緊急輸送路に指定されており、整備による機能強化が期待される。 ○R1.7.31に重要物流道路の代替路・補完路に指定され、更なる機能強化が期待される。 ○二次救急医療施設である北秋田市民病院へのアクセス路線である。	26点
効 率 性	○事業の費用便益比は1.3であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 43.0億円 ・総費用の現在価値 32.0億円 ○発生土を盛土材に使用しコスト縮減を図っている。 ○大部分がバイパスであり、中止による損失が大きい。	19点
熱 度	○令和4年度末の事業進捗率は17%である。 ○用地進捗率は85%である。	15点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III)	87点
	緊急性、効率性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総合評価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
 適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード (R5-建-継-01)
 箇所名 (北秋田市阿仁幸屋渡)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>4% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	8	5	・最小半径 30m ・冬期堆雪巾なし 計2項目
			2箇所	5		
			1箇所	3		
			該当箇所なし	0		
			計	15		
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度 ≥ 1.0 ・走行速度 $\leq 30\text{km/h}$ ・現道の事故率 ≥ 50 件 ・重大交通事故が発生 ・通学路指定で歩道なし ・バス路線で歩道なし	3項目以上該当	7	7	・現道の事故率=56件 ・重大交通事故が発生 ・バス路線で歩道無し 計3項目	
		2項目該当	5			
		1項目該当	3			
		該当項目なし	0			
		計	15			
緊急性	道路を取り巻く環境等	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	5	5	北秋田市総合計画
			なし	0		
			計	5		
			計	5		
	緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保 冬期通行不能区間等	あり	5	5	死亡事故が発生	
		なし	0			
	同一路線の整備状況	整備済み	5	5	整備済み	
		未整備	0			
	計	15	15			
	有効性	道路の位置付け	緊急輸送道路	第1次輸送道路	8	6
第2次輸送道路				6		
第3次輸送道路				4		
指定なし				0		
救急医療施設へのアクセス		アクセス性向上に大きく貢献	7	5	北秋田市民病院	
		アクセス性向上に貢献	5			
		アクセス性向上に一定の効果	3			
観光・産業の活性化		活性化に大きく貢献	7	7	森吉山県立自然公園 道の駅あに 大館能代空港	
		活性化に貢献	5			
		活性化に一定の効果	3			
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	8	8	重要物流道路代替路・補完路		
	必要性が低下傾向	4				
	必要性が著しく低下	0				
計	30	26				
効率性	事業の投資効果等	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	B/C=1.3
			1.0未満	0		
	計画交通量	4,000台/日以上	5	5	5,700台/日	
		1,000台/日以上4,000台/日未満	3			
	コスト縮減	あり	5	5	発生土の工区内流用	
		なし	0			
	事業中止による影響	既投資額の損失大	5	4	パイパス	
		既投資額の部分的損失	4			
既投資額の損失が少ない		3				
計	20	19				
熟度	事業の進捗状況	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	5	17%
			5割以上完了	8		
	用地買収の進捗 (面積)	1割以上完了	5	10	85%	
		1割未満	2			
		8割以上完了	10			
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
未着手	0					
計	20	15				
合計				100	87	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		